

【記載例】

(表)

CSRパートナー企業表彰応募書

ふりがな	〇〇〇〇〇		電話	(054) 〇〇〇-〇〇〇〇
名称	〇〇株式会社			
設立年月日	〇〇年 〇月 〇日	業種番号	〇〇(別紙「業種分類表」の該当番号を記載してください)	
資本金	〇〇円	従業者数	〇〇人(内パート等〇人)	
所在地	静岡市〇〇区〇〇			
事業概要				
(記載例1)				
<p>輸送機器用部品の切削、研磨を主体とした金属加工業。特に5軸マシニングによる加工を得意とし、国内だけでなく、中国、韓国にも顧客を持つ。また、自社の技術力のアピールと、従業員のモチベーションの向上もかねて、自社ブランドによる金属加工の雑貨の製造も手掛けるほか、2014年からは静岡県の支援を受け、他社と連携して医療器具部品の開発に着手。</p>				
(記載例2)				
<p>フレンチ、イタリアンの飲食店として静岡市内3店舗、浜松市内1店舗、名古屋市内1店舗を展開中。2013年から事業承継により現代表の〇〇が事業を承継。</p>				
CSRに取り組む目的				
できる限り具体的に記載してください。(書ききれない場合は、別紙に記入してください。)				
(記載例1)				
<p>大手取引先からISO14001、ISO9001の取得を求められて、その認証を取得したことがCSRのきっかけ。また、取引先から原材料の紛争鉱物使用に関する原産地証明を求められることが多くなった。それらの要求が昨今いわれるCSRの考え方に基づくCSR調達であるということを知り、今後の事業戦略を念頭に、現在は主に環境、品質関連のCSR活動に取り組んでいる。</p>				
(記載例2)				
<p>飲食業は「ブラック企業」視されることが多く、それが採用難につながるなど社会的な逆風にさらされている。そのような状況の中で、自社の「CSR度」を把握し、自社の抱えているリスクと可能性を確認する、いわゆる事業の「棚卸」の一環で応募。</p>				

(裏)

これまでのCSR活動実績 できる限り具体的に記載してください。(書ききれない場合は、別紙に記入してください。)
(記載例1)
現在のCSR活動のメインはISOの運用を通じた環境負荷の抑制と品質管理の精度の向上。
施設面では営業車に順次エコカーを導入し、内勤エリアの照明のLED化を実施している。
製造現場では、電気、油、水の使用量削減によるコスト削減を図るため、計測機器、デマンドコントローラーを設置し、社内で月次で行われる環境・品質委員会でカイゼン活動に取り組んでいる。
また、環境と品質の基礎である安全や作業性を確保するため、商工会議所の支援により5Sの浸透活動を行っている。
その他には前期からPL保険に加入し、品質管理に関するリスクマネジメントを強化している。
(記載例2)
これまでも各店舗で静岡県内産の素材をメインにしたメニュー展開を図っており、地産地消を推進している。また、静岡県中部農林事務所の食農体験会に参加するなど、本業でできる社会貢献活動として食育活動に参画している。その他にも余剰食品をフードバンクに寄付したり、店舗には募金箱を設け、毎年FAO(国連食糧計画)に寄付している(2014年実績:〇〇円)。
今後取り組みたいCSR活動 ①何のために ②どのようなことを ③どのような目標で取り組みたいか できる限り具体的に記載してください。(書ききれない場合は、別紙に記入してください。)
(記載例1)
①事業戦略の強化だけでなく当社の経営理念である「報恩感謝」を精神論で終わらせないために、地域社会との共生に資するCSR活動の幅を広げ、従業員の働き甲斐につなげたい。
②近隣の高校の就業体験、インターンシップの受け入れ。
③採用難ということもあり、半期に1回、通期2回の目標。就業体験の場の提供という社会貢献活動を通じ、人材供給源である学校との関係を深めてゆきたい。
(記載例2)
①飲食サービスを通じたCSR活動はそれなりにできているが、中長期的な事業展望を考慮すればコンプライアンスの充実、働きやすい職場の創造が必須であり、今後はこの方面にも注力したい。
②法改正に応じた就業規則、関連規程の見直し、運用のPDCAサイクルの確立。
③社労士と連携し、現状の労務・コンプライアンスのリスクを洗い出し、そのリスクを抑制するために規程類を1年ほどかけて見直し、翌1年でPDCAサイクルと費用対効果を検証をする。